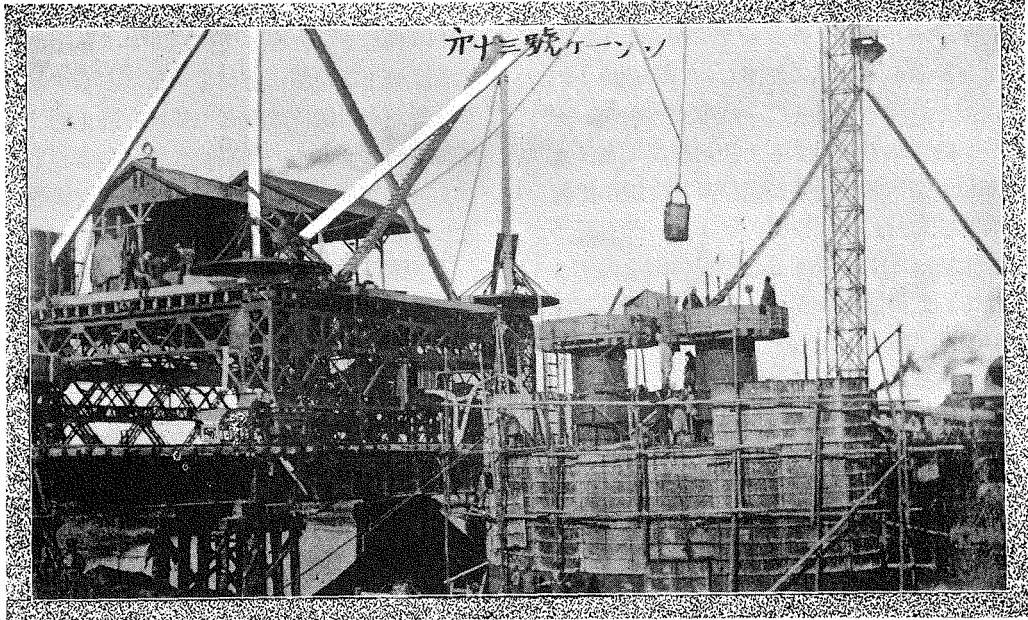
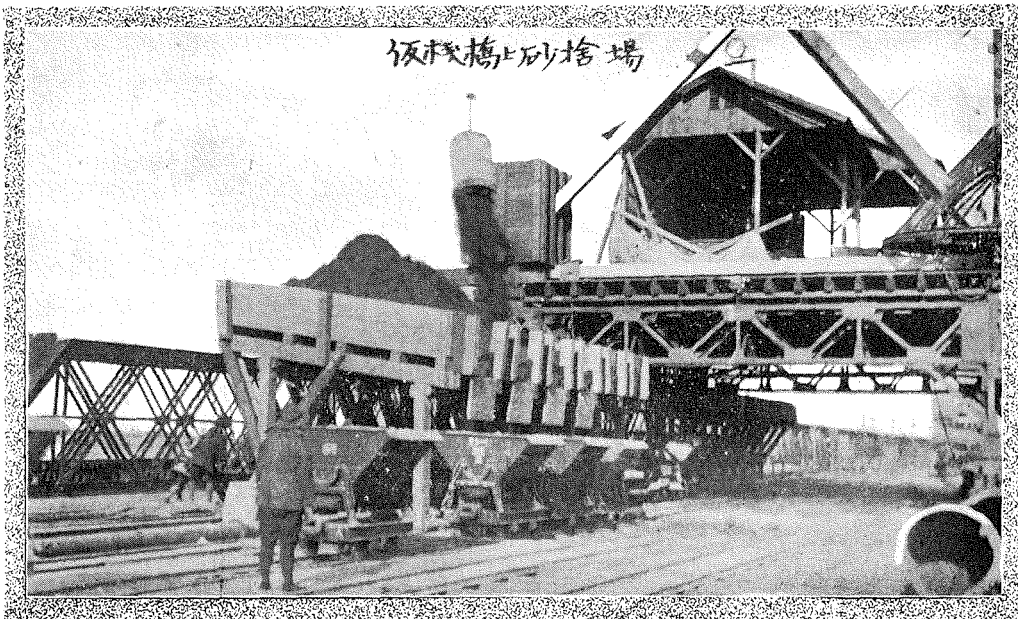


木會川ケーソン工事……(三月號より續く)

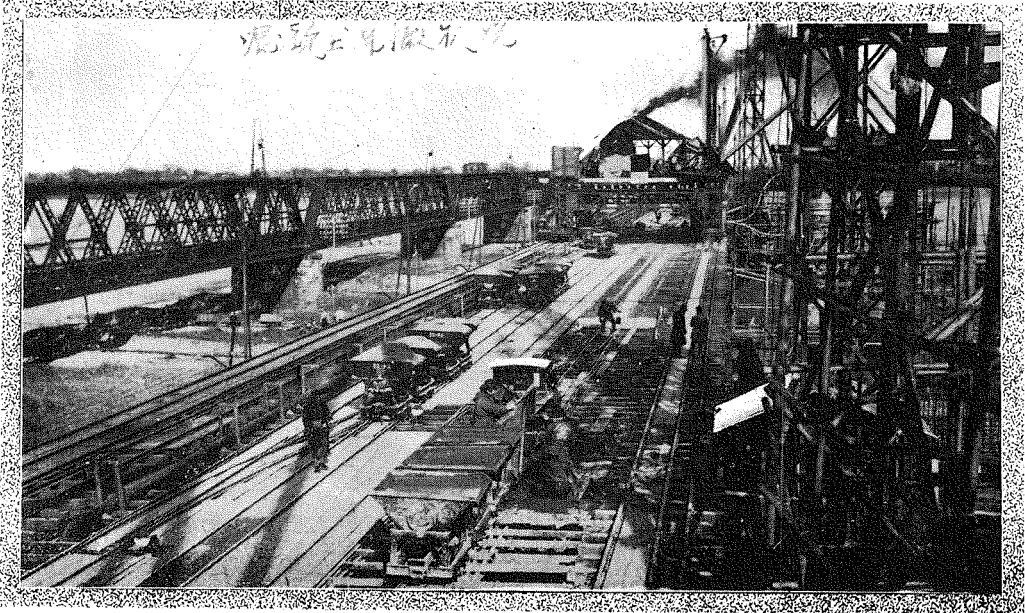
Kisogawa Caisson Work. (Continued from March Number.)



(30) 第十三號ケーソン内部掘鑿中の状態でエヤーチャンバーから土砂を撤出するバケツは可動式棧臺上のデージーにて繰繰する、寫眞は二本のエヤーロックを圍んでケーソンの上部コンクリート型枠組立中である。 (30) General View of the Caisson No. 13 Under Operation, Feb. 7, 1927.

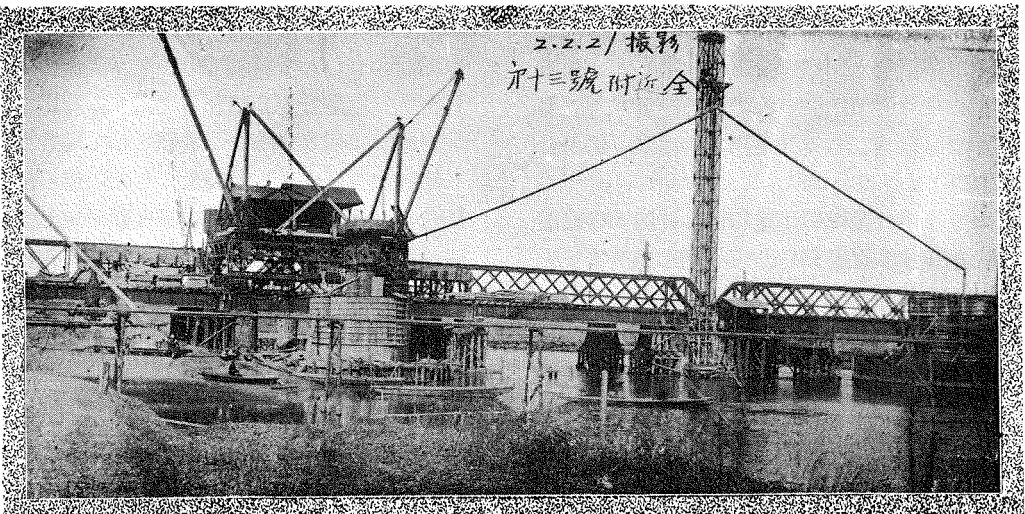


(31) ケーソン内の掘鑿土砂はバケツで釣出されると可動棧臺の兩傍に設置された土捨受臺に放たされる、土捨受臺は寫眞の如き勾配面をなし、土砂は之を滑つて漏斗口からダンプカーに入る、而して陸上の捨場に搬ばれる。 (31) Discharging the Spoil Material into the Wooden Bin.



(32) ケーソン用のコンクリートは陸上のバッチャープラントで練合してダンプカー三臺連結にて假棧橋上を搬びコンクリートタワーのバケツに放入する。ダンプカーは40立方呎のもの全部で100臺準備する事になつてをる牽引は4噸のガソリン機關車7臺を準備してある。本寫眞の中央下はコンクリートをダンプしてをる狀況である。

(32) View of Concrete Transportation, Using the Gasoline Locomotives over the Temporary Bridge.



(33) コンクリートタワーは高105呎のもの4箇あつて一箇で二橋脚に使用出来る橋になつてをる、コンクリートバケツは1立方ヤードである、寫眞は第十三號橋脚のケーソン沈下工事と、ケーソンの上部コンクリート施工中である。

(33) Placing Concrete for No. 13 Caisson.